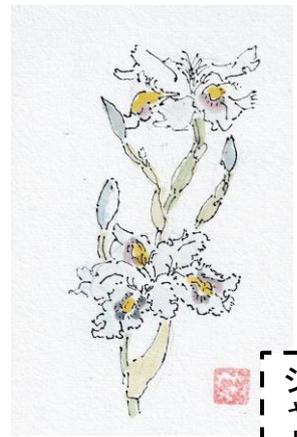


道

2024・4・17

通信 No 1778



シャガ

本番まで 水曜日練習 残り 5回 Doit 本番は 4 月 29 日

- 本日「Doit のしおり」配布します。
- 56 周年定期演奏会の 2 部についてのアンケートありがとうございました。
- ロシア民謡メドレーの「カチューシャ」は 1・2 番とも日本語で歌いたと思います

本日の練習 6 時 30 分～ 岡野中 1部 清水先生 小坂先生

次週水曜日練習 4/24(水) 6 時 30分～ 岡野中 3部 小坂先生 二宮先生

同日 3時～ プログラム委員会

プログラム委員会より プログラムに掲載予定の原稿です(その3)。

演奏曲の理解および誤記などのチェックのをお願いします。何かありましたらお知らせください。

白いアカシア

白い花が咲くのは、北原白秋の「この道」で歌われているのと同じマメ科の落葉高木「ニセアカシア」のこと。香しいアカシアの下で永遠の愛をささやいた、夏のひと日の幸せ。♪いつまでも胸に咲く…

*アカシア(ミモザ)は黄色の花が咲く

ぶどう色のショール

サカルトヴェロ(ジョージア, グルジア)出身の軽音楽歌手チャパリーゼのレパートリーに同名同歌詞の曲があるが、詳細は不明。♪このショールを着た時 恋人と呼ばれ 恥ずかしくうつむいた… あの日はただ遠く思うだけ。「暗桜桃色のショール」
とも。

やなぎ

恋ははかなく消えてしまったが ♪夕空赤く川面に映え… 心をなごませてくれる。1963 年のロシア歌曲だが、メロディは伝統的な民謡形式。作曲のポノマレンコはペテルブルグで合唱指揮の後、モル

ダヴィア共和国キシニョフ音楽院で作曲の教授になった。

鐘の音は単調に鳴りひびく

恋に破れ、人生に疲れ、故郷の村を出る夕暮れの何と寂しいことか。ふるさとの黒い森かげは遠く離れ、荒れ野をゆく馭者の歌も絶えてしまった。こんな悲惨な状況さえも美しいメロディにのせてしまうのが「ロシア民謡」の魅力かもしれない。1853 年の作品。

あなたに会ったとき

晩年の病床で思いがけなく、かつての恋人に出会い、モノクロの世界がたちまち黄金色に輝いた感動を歌っている。二人の思い出ははるか昔のことになってしまった。けれど心ときめくのは何故だろう。

この曲を放送で聞いた団員が提案し、合唱団「道」が訳詞した“初演曲”(1995)。

以上